

助成者	中田 豊一	活動期間	2016年4月～2019年3月
所属機関	特定非営利活動法人ムラのミライ	職名	代表理事

ネパール・バグマティ川再生のはじめの一步、親子で学ぶ川の環境

【活動場所】ネパール カトマンズ東部バグマティ川中流域ボーダ、ゴカルネショール市アルバリ地区

【事業目的】近年ネパール首都カトマンズ市内を流れるバグマティ川では、河川敷に捨てられた家庭ゴミや浄化槽を通らない家庭排水の流入により汚染が進んでいる。2015年4月の震災後は、仮設住宅地からの排水や行政による回収が滞り放置されたゴミにより環境悪化が進む。地域住民たちが、川の汚染を「自分たちの問題」と認識させるために、学校の教員とともに参加・体験型の授業を実践し、地域の住民がみずから課題解決のための行動を起こすきっかけづくりをおこなう。

バグマティ川下流テクでの水質検査の様子



村の家庭から出たゴミを分別



【活動内容】

- ①指導教員へのコンサルテーション：対象校の教員へ課外事業プランを考え作成させる。
- ②川の課外授業実施：汚染の原因と影響を知ることが目的に、5校で378人参加
- ③グリーンマップづくり：川周辺や居住地の情報を自ら調べ考えさせる。計148名参加。
- ④学校ゴミ組成調査：学校で出たゴミの種類、性質（生ゴミ、紙ゴミ、プラスチック等）を明らかにしてゴミ分別の知識を得る。2回実施、延べ361名参加。
- ⑤ゴミ分別・回収研修：9回実施、延べ210名参加。
- ⑥ムラの地図作成及び世帯調査：5人の調査員が実施し45世帯449人の居住判明
- ⑦世帯ゴミ組成調査：6世帯が調査へ協力し4カ月実施。ゴミの種類と量を可視化。
- ⑧ゴミ分別ルールづくり：女性グループのリーダー3名へ3回研修を実施。

【活動成果】

川の課外授業、グリーンマップ作成では、親世代と子世代の異なる世代が地域の環境問題に目を向けるきっかけとなった。ゴミ組成調査では、自分たちが排出するゴミを可視化することで、ゴミとして排出するものが大幅に減らせることを理解した。本事業に参加した学校や地域が始めた取り組みは、周囲の地域へ波及して自発的な行動が生まれ始めている。